

24.11.16

日刊建設通信新聞

すみだ産業会館で、11月度例会と講演会を開いた。

冒頭、小黒会長は「経済情勢が厳しい中で会員各社も厳しい決算となっている。売り上げは上がっているが、利益は上がらないという傾向があるのではないか。ただ単に仕事を取ればよいという風潮に歯止めをかける必要がある。来年の3月期、7月期決算では、税金を納められる企業が多くあってほしい」と述べた
||写真。

例会では、社会保険未加入問題の現状と課題などを論議し、適正な加入を図ることを確認した。現在、施工部会で集計中の会員企業アンケートなどを踏まえて、近く協会としての意見を打ち出す方針だ。

各部会の活動状況について各部長が説明。置床・鋼製床部会では、東日本大震災復興工事における作業所、現場での職人不足を危惧(きぐ)する声相次いだ。

講演会では、建設産業専門団体連合会の道用光春事務局長が「専門工事業の現状と課題」をテーマに今後の望ましいあり方について語った。

厳しい状況打破を

フローリング協会

11月例会、講演会

フローリング協会(小黒邦雄会長)は、東京都墨田区の

